

i.e cafe 活動 事後発表会

代表者 与田 有紗 (地域社会システム学科ツーリズムコース 3年)



1. 目的と概要

このプロジェクト事業は、「豊島の魅力をより多くの人々に伝えたい」という思いから始まったものです。

私はゼミナールの研究として、平成 22 年の春から豊島で『まちあるき型地域活性化』を行っていました。その際、豊島の風景、独特の雰囲気、住民とのふれあいから、豊島に愛着が湧き、より豊島の魅力を多くの人々に伝えたいと考えました。

そして、平成 22 年 7 月から瀬戸内国際芸術祭が開催されるということで、芸術祭に来られる観光客に合わせて、「アート以外の豊島の魅力を伝えるお手伝い役」として、島の方と観光客が交流することのできるカフェを運営致しました。

2. 実施期間 (実施日)

平成 22 年 8 月 15 日、16 日、23 日、29 日、30 日、9 月 5 日、6 日、12 日、13 日、19 日、20 日、26 日 27 日の 13 日間。

3. 成果の内容及びその分析・評価等

7 月

カフェのマーケティング構成。

広報活動

(タウン情報誌・朝日新聞などマスメディアへの売り込み)

8-9 月

豊島の夏祭りに参加：

島の方と交流を深めるため、豊島の夏祭りに 2 回参加しました。

漬物プロジェクトの実施：



豊島のおばあちゃんに豊島独自の漬物の漬け方を教わりました。このプロジェクトにより、島の文化を学ぶと同時に島の方との交流を果たすことができました。また、この漬物をカフェのメニューとして取り入れることで、豊島の味を観光客にも味わっていただくことを可能にしました。

豊島ノートの作成：

豊島の歴史、産業廃棄物問題、食と農等、豊島の魅力を紹介するノートをメンバーで作成。各テーブルに1つずつ配置し、観光客に気軽に読んでもらうことで、島の魅力を伝えました（30ページ程）。

島の方との晩酌会：

私たちが行っている活動についてより深く知っていただくため、カフェ閉店後、島の方をお呼びし、夕食を共にしました。私たちの「プロジェクトに対する想い」を伝え、島の方からもご意見・ご感想をいただくことで、よりよい活動にするために大変重要な晩酌会だったと感じました。



4. この事業が本学や地域社会に与えた影響

大学に与えた影響：複数のマスメディアに取り上げていただくことで、『地域に根差した学生の大学』をアピールすることができました。

地域社会に与えた影響：高齢化により若者が急激に減少している島に大学生が参入することで、島の活性化活動を引っ張っていく担い手として役割を果たしました。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

私たちの学生生活に与えた影響として、

- ①大学で学んだことを現場で実践することで、リアルな経営を体験することが出来た事。
 - ②学生では味わうことのない、多大な責任を負うという経験をする事が出来た事。
 - ③多種多様な価値観を持った人々と接することで、自己の価値観を見直すきっかけとなった事。
- の3点が挙げられます。

6. 反省点・今後の抱負（計画）・感想等

私はこの活動から、最後まで諦めず問題に対して徹底的に取り組むことにより、成功への道に進むことが出来るのだということを実感しました。

「何の縁もない学生たちが島に入り勝手にカフェを開く」ことについて、最初は受け入れていただけない方も多くいらっしゃいました。しかし島の方と観光客の架け橋となるべき私たちにとって、島の方との交流は不可欠であり、まずは私たちのことを知っていただく必要性を感じました。そこで漬物プロジェクト、晩酌会などの交流イベントを実施。その際、私たちのコンセプトや島に対する想いを伝え、同時に島の方からご意見・ご感想をいただきま

した。

怒られる事も多々ありました。私たちの常識のなさから築き上げた信頼が崩れ去ってしまったこともありました。しかし、最後まで諦めずにアプローチし続けることで、次第にご理解をいただき、カフェに足を運んで下さるだけではなく、野菜を提供して下さいたり、「次はいつ来るんな。」と電話を下さる方が増えた時は本当に嬉しかった事を覚えています。

このように私たちは、チャレンジプロジェクト事業の力を借り、大学生活では味わうことのできない貴重な体験をすることが出来ました。

7. 実施メンバー

代表者 与田 有紗 (経済学部3年)

構成員 竹中 彩恵 (経済学部3年) 鈴木 友章 (経済学部3年)

白井 あかり (経済学部3年) 塩田千尋 (経済学部3年)

山川幸 (経済学部3年) 牛田絢 (経済学部3年)

渡部将光 (経済学部3年) 山口華澄 (経済学部3年)

青木千紘 (経済学部3年) 秋庭浩 (経済学部3年)

